

先進的ケア・ネットワーク開発研究分野

【修士課程】介護福祉・ケアマネジメント学領域/自立支援介護学領域

【博士課程】介護福祉学領域

入学相談会

受付中



- ・ オンラインによる同時双方向授業・研究指導
- ・ 自立支援介護講師認定試験の受験資格取得※1

✓ 専門性の高い介護実践を求める方、さらに教育・研究者をめざす方に！

✓ 自立支援介護を軸にした質の高い介護事業の管理運営をめざす方に！

	修士課程		博士課程
	介護福祉・ケアマネジメント学領域	自立支援介護学領域	介護福祉学領域
修業年数	2年間	1年間	3年間
修了要件	30単位＋論文作成	30単位（実習含む） ＋課題研究作成	12単位＋論文作成
学生納付金	190万円（2年間合計）	115万円	330万円（3年間合計）
学位名称	修士（介護福祉・ケアマネジメント学）	修士（自立支援介護学）	博士（介護福祉・ケアマネジメント学）
出願要件	大学院の定める一般入試の出願資格(1)～(10)※2 のいずれかを満たしている者。 自立支援介護学領域は、上記の出願資格(1)～(10)に加え、以下①②のいずれかに該当する者。 ①介護事業の管理運営経験3年以上 ②介護福祉士としての実務経験3年以上		

※1 受験に際しては、一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会の要件があります。

※2 詳細は大学院ホームページの大学院学生募集要項をご確認ください。

分野の詳細はこちらから ➡



先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 【修士課程】自立支援介護学領域(1年制)／介護福祉・ケアマネジメント学領域(2年制)
 (※その他の講義で興味があればもちろん受講可能です。科目や授業形式は変更される可能性がありますので、最新情報はシラバスで確認してください)

曜日	No	2024年度開講科目	時限		単位数	1年制 必修	2年制 必修	授業形式	備考
水曜	1	自立支援介護学	前期	4	2	○	○	VOD Teams/対面	自立支援を小児・障がい者・高齢者の視点から学修
	2	介護福祉・ケアマネジメント学講義(乃木坂スクール)	前期	6	2	○	○	VOD Teams/対面	公開講座、一部対面受講
	3	介護福祉・ケアマネジメント学演習(乃木坂スクール)	前期	7	2	○	○	VOD Teams/対面	公開講座、一部対面受講
	4	研究倫理特論	前期	集中	2	○	○	VOD	研究に携わる者としての研究倫理に関する学修
	5	介護管理学	後期	4	2	○		Teams	質の高い組織的な介護サービス提供の知識・技術
	6	介護保険事業各論(8コマ)	後期	5	1	○		VOD	介護保険における各事業を考察
	7	ケア理論演習	後期	6	2	○	○	Teams	分担抄読
土曜	8	ケアマネジメント論	前期	3	2			Teams	ケアマネジメントの基本的な知識について学修
	9	自立支援型介護計画演習 I	前期	4,5	2	○		Teams	自立性回復のための介護計画作成
	10	自立支援介護学演習(8コマ)	通年	集中	1	○		Teams	自立支援介護理論の講義力を身につける
	11	高齢者介護施設実習演習Ⅲ	通年	集中	2	○		Teams	実習の課題を考察
	12	高齢者介護学	後期	2	2	○	○	Teams	高齢者の自立支援介護について学修
	13	自立支援型介護計画演習Ⅱ(8コマ)	後期	3,4	1	○		Teams	自立支援介護の実践的な技術を習得
実習	14	高齢者介護施設実習Ⅰ	-	-	2	○			7月
	15	高齢者介護施設実習Ⅱ(自立支援型介護施設)	-	-	2	○			8月
研究指導	16	自立支援介護学課題研究指導Ⅰ(計画・データ収集)	前期	-	2	○			課題研究の計画・データ収集
	17	自立支援介護学課題研究指導Ⅱ(分析・作成)	後期	-	2	○			課題研究の分析・作成
	18	介護福祉・ケアマネジメント学研究指導Ⅰ・Ⅲ	前期	-	4		○		論文の計画作成(1年次)・データ分析(2年次)
	19	介護福祉・ケアマネジメント学研究指導Ⅱ・Ⅳ	後期	-	4		○		論文のデータ収集(1年次)・論文作成(2年次)
VODのみ	20	修士[博士]課程のための研究法入門	前期		2			VOD	集中講義区分にあります(日程はシラバス参照)

は、後期開講の科目です。

※1年制は1年間で30単位、2年制は2年間で30単位必要です(上記の必修のみで1年制は29単位、2年制は20単位となりますので、他共通科目を履修していただきます)。

※VOD(Video on Demand)科目は、講義後1週間程ネット上で聴講できます(科目によって異なります)。1コマごとに講義の感想を書き込むようになっています(聴講の証し)。

※Teams科目は、パソコン(PC)やタブレットなどを使って授業に参加できる、同時双方向授業となります。